

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-61474

(P2004-61474A)

(43) 公開日 平成16年2月26日(2004.2.26)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
GO 1 K 11/12	GO 1 K 11/12	2 F 0 5 6
AO 1 K 13/00	AO 1 K 13/00	
AO 1 K 29/00	AO 1 K 29/00	
A 6 1 B 5/00	A 6 1 B 5/00	1 O 1 E
// A 6 1 D 13/00	A 6 1 D 13/00	A
審査請求 有 請求項の数 2 書面 (全 6 頁)		

(21) 出願番号 特願2002-247771 (P2002-247771)
 (22) 出願日 平成14年7月25日 (2002. 7. 25)

(71) 出願人 502310449
 正宗 謙治
 東京都渋谷区本町3-21-1
 (72) 発明者 内海 麗
 京都市伏見区深草西川原町36-1コート
 ハイッA630
 Fターム(参考) 2F056 VA02 VA05 VA10

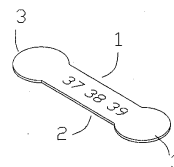
(54) 【発明の名称】 ペット用体温計

(57) 【要約】

【目的】 犬や猫などのペットの体温測定に際し、専門知識や専門用具を必要とすることなく、飼い主がペットの体温を手早く、簡単に測定できると共に、ペットを傷つけることもない安全なペット用体温計を提供することにある。

【構成】 特定温度であることを色の変化で示す薄板状の示温材からなる温感部に押え部を設けたことを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

特定温度であることを色の变化で示す薄板状の示温材からなる温感部の少なくとも片側に、ペットに密着させるために測定者が指で押えることができる押え部を設けたことを特徴とするペット用体温計。

【請求項 2】

前記押え部が測定者の指に着脱可能になることを特徴とする請求項 1 に記載のペット用体温計。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

10

【産業上の利用分野】

この発明は犬やネコなど家庭で飼うペットの体温を簡易的に測定することができる体温計に関する。

【0002】**【従来技術】**

従来、動物の体温を測定する方法としては、体温計をペットの肛門に所定時間挿入して直腸温を計測する方法が一般的に広く知られている。

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**

しかし、専門知識を持たないペットの飼い主が専門用具もない家庭において、直腸温の測定を実行することは非常に困難であった。

20

すなわち、直腸温の測定に際して、ペットが暴れたり、逃げたり、また、それらの行為を飼い主が強制的に抑制しようとする事でペットが傷つき、更には体温計が破損して、大きなケガになる可能性があるため、ほとんどの飼い主は測定したことがないのが実状である。

また、人体用に使用される一般的な体温計をペットの足の付け根などあてがって測定することも考慮できるが上記と同様に非常に困難で危険であった。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

この発明は上記従来課題に鑑みなされたもので、その目的は、犬や猫などのペットの体温測定に際し、専門知識や専門用具を必要とすることなく、飼い主がペットの体温を手早く、簡単に測定できると共に、ペットを傷つけることもない安全なペット用体温計を提供することにある。

30

【0005】

その手段として、本発明の請求項 1 は、特定温度であることを色の变化で示す薄板状の示温材からなる温感部の少なくとも片側に、ペットに密着させるために測定者が指で押えることができる押え部を設けたことを特徴とする。

本発明の請求項 2 は、前記押え部が測定者の指に着脱可能になることを特徴とする。

【0006】

本発明の請求項 1 は、ペットの体温を測る温感部が薄板状の示温材からなるため、適度な可撓性を有し、また、温感部の少なくとも片側に測定者が指で押えることができる押え部を設けたことで、ペットの体に沿って適度の圧力で押え、密着して測定することができると共に、測定時にペットが動いても傷つける心配がない。

40

また、温感部は特定温度であることを色の变化で示す示温材からなるので、飼い主は目視により容易にペットの体温を知ることができる。

【0007】

本発明の請求項 2 は押え部が測定者の指に着脱可能になることで、取り扱いが容易になり、手早く測定ができる。

【0008】**【発明の実施の形態】**

50

本発明の実施例を、図面を用いて詳細に説明する。

図 1 は本発明の第 1 実施例を示す斜視図、図 2 はその側面図である。

1 は温感部で樹脂製の薄板状の示温材からなる。

一般的に示温材とは、特定温度により変色する特殊インクを、紙や樹脂製の薄板材などに塗布や印刷等したもので、対象物の温度変化を特殊インクの変色により表示するものであり、一度変色すると元の色に戻らない不可逆性のものと、一度変色しても元の色に戻る可逆性のものとに大別することができる。

温感部 1 には、表示部 2 として特定温度により変色する特殊インクにより数字「37 38 39」を設け、測定した体温と表示部の数字が一致するように設定する。

表示部 2 のインク色は、当初は温感部 1 の背景色と同じ色にして、特定温度、例えば、体温が 38 度になれば「38」の文字が変色して、背景から浮かび上がるように表示することも、あるいは、当初より背景色と相違させて「37 38 39」の文字を表示しておき、特定温度になれば、別の色に変色し表示させることもできる。

また、数字「37 38 39」自体は一般的なインクを用いて表示し、その近傍に、且つ、その数字と対応していると使用者が一目して理解できるように、前記特殊インクで「
」や「
」等の模様を表示し、その変色により体温を表示することもできる。

さらに、この実施例では体温を示す表示部 2 の数字を「37 38 39」としたが、特にこれに限定することなく、表示範囲を広くしても狭くしてもよい。温感部 1 に可逆性示温材を用いれば、複数回使用できる転用品となり、不可逆性示温材を用いれば、一回使用の限定品となるので、その性能を特に限定することなく、目的により所望のタイプを選択することもできる。

【0009】

3 は押え部であり、薄板状の温感部 1 の両外側に温感部 1 の幅より大きく、かつ一体的に形成する。

しかし、押え部 3 の幅は限定することなく、例えば、温感部 1 と同じ幅にして全体を矩形状に形成してもよい。

すなわち、指で押えることができればその役割を達成することができる。

また、押え部 3 の肉厚を温感部 1 の肉厚より厚く形成して、適当な硬度を持たせ、測定者が取り扱い易くすることや、押え部 3 を温感部 1 より適宜角度を有して外方に突出させ、例えば、90 度折り曲げて、全体を L 形にして上記と同様の効果を得ること（図示省略）も、本発明より容易に推考することができる。

更に、図 1 3 に示すように温感部 1 の長手方向の一側面から外側に突出することもできる。

【0010】

図 3 は本発明の第 2 実施例を示す斜視図であり、図 4 はその側面図である。

10 の温感部、12 の表示部は上記第 1 実施例と同様のものである

13 は押え部であり、温感部 10 の両端に測定者の指が挿入できる程度の大きさの内径にした筒状片 14 を形成する。

筒状片 14 の形成の方法としては、まず、薄板状の温感部 10 の両端をそれぞれ内側に向かって円弧状に折り曲げることで一体的に形成し、端部は接着剤などで接合して筒状片とする方法、あるいは、図 5 に示すように端部はそのままの状態にしておく方法がある。

更に、筒状の別部品を温感部の両端に接着して形成する方法も本発明より容易に推考することができる。

また、図 6 に示すように、筒状片 14 を温感部 10 の片側にのみ設け、もう一方は第 1 実施例のように平面状に形成してもよい。

【0011】

図 7 は本発明の第 3 実施例を示す斜視図、図 8 はその側面図である。

20 の温感部、22 の表示部は上記第 1 実施例と同様のものである

23 は押え部であり、開口部より底部がやや広い略 U 型に薄板を一体的に折り曲げて嵌着片 24 を形成して、温感部 20 の両端に設ける。

嵌着片 24 の上端は測定者の指が入れやすいようにガイド片 25 を設ける。

また、図 9 に示すように、嵌着片 24 を温感部 20 の片側にのみ設け、もう一方は第 1 実施例のように平面状に形成してもよい。

【0012】

本発明の第 1 実施例の使用方法を説明する。

図 10 は本発明の第 1 実施例の使用状態図である。

測定者は、ペットをひざの上で抱くようにしてリラックスさせた状態で、ペットのおなか付近に温感部 1 が密着するように、温感部 1 の両端に設けた押え部 3 を中指 A と人差し指 B でそれぞれ押えておき、適宜時間の経過後、温感部 1 の表示部 2 の色が変わり、体温が表示されることで体温測定することができる。

10

【0013】

本発明の第 2 実施例の使用方法を説明する。

図 11 は本発明の第 2 実施例の使用状態図であり、測定者の中指 A と人差し指 B を温感部 10 の両端に設けた押え部 13 の筒状片 14 , 14 にそれぞれ挿入した後、ペットをひざの上で抱くようにしてリラックスさせた状態で、ペットのおなか付近に温感部 10 が密着するように押えておき、適宜時間の経過後、温感部 1 の表示部 2 の色が変わり、体温が表示されることで体温測定することができる。

【0014】

本発明の第 3 実施例の使用方法を説明する。

図 12 は本発明の第 3 実施例の使用状態図であり、測定者の中指 A と人差し指 B を温感部 20 の両端に設けた押え部 13 の嵌着片 14 , 14 にそれぞれ嵌着した後、ペットをひざの上で抱くようにしてリラックスさせた状態で、ペットのおなか付近に温感部 10 が密着するように押えておき、適宜時間の経過後、温感部 1 の表示部 2 の色が変わり、体温が表示されることで体温測定することができる。

20

【0015】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明の請求項 1 は、ペットの体温を測る温感部が薄板状の示温材からなるため、適度な可撓性を有し、また、温感部の少なくとも片側に測定者が指で押えることができる押え部を設けたことで、ペットの体に沿って適度の圧力で押え、密着して測定できると共に、測定時にペットが動いても傷つける心配がない。

30

また、温感部は特定温度であることを色の变化で示す示温材からなるので、飼い主は目視により容易にペットの体温を知ることができる。

更に、押え部が測定者の指に着脱可能になることで、取り扱いが容易になり、手早く測定ができる

すなわち、家庭において、飼い主がペットの体温を手早く、簡単に測定できるので、ペットの健康管理の一環として非常に有益になると共に、体温測定の際にペットを傷つけることもない安全性の高いペット用体温計を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 実施例を示す斜視図

【図 2】本発明の第 1 実施例を示す側面図

40

【図 3】本発明の第 2 実施例を示す斜視図

【図 4】本発明の第 2 実施例を示す側面図

【図 5】本発明の第 2 実施例における押え部の別の形態を示す斜視図

【図 6】本発明の第 2 実施例における押え部の別の形態を示す斜視図

【図 7】本発明の第 3 実施例を示す斜視図

【図 8】本発明の第 3 実施例を示す平面図

【図 9】本発明の第 3 実施例における押え部の別の形態を示す斜視図

【図 10】本発明の第 1 実施例の使用状態図

【図 11】本発明の第 2 実施例の使用状態図

【図 12】本発明の第 3 実施例の使用状態図

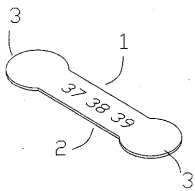
50

【図13】本発明の第4実施例を示す斜視図

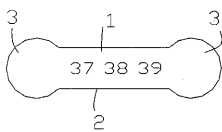
【符号の説明】

- 1、10、20 温感部
- 2、12、22 表示部
- 3、13、23 押え部
- 4 平板
- 14 筒状片
- 24 嵌着片
- 25 ガイド片
- A 中指
- B 人指し指

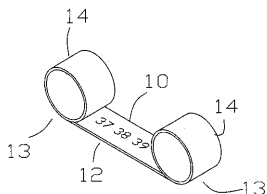
【図1】



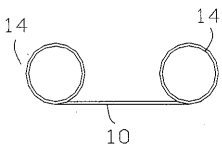
【図2】



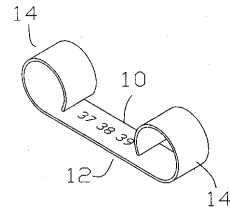
【図3】



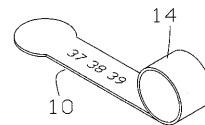
【図4】



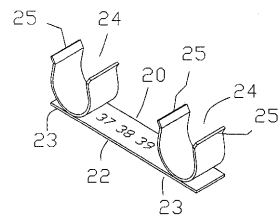
【図5】



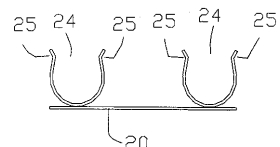
【図6】



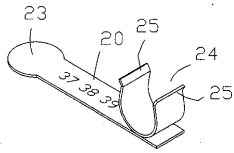
【図7】



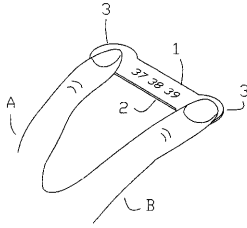
【図8】



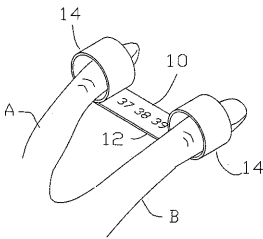
【 図 9 】



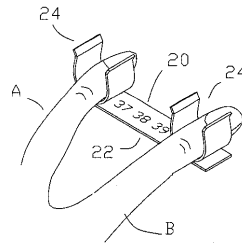
【 図 10 】



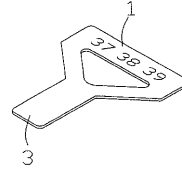
【 図 11 】



【 図 12 】



【 図 13 】



专利名称(译)	宠物温度计		
公开(公告)号	JP2004061474A	公开(公告)日	2004-02-26
申请号	JP2002247771	申请日	2002-07-25
申请(专利权)人(译)	正宗贤治		
[标]发明人	内海麗		
发明人	内海麗		
IPC分类号	A01K13/00 A01K29/00 A61B5/00 A61B5/01 A61D13/00 G01K11/12		
FI分类号	G01K11/12.A A01K13/00.Z A01K29/00 A61B5/00.101.E A61D13/00.A A01K67/00.D A61B5/01.100		
F-TERM分类号	2F056/VA02 2F056/VA05 2F056/VA10 4C117/XA01 4C117/XB01 4C117/XC26 4C117/XE23 4C117/XG22		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

需要解决的问题：提供一个安全的体温计，让宠物主人能够快速，轻松地测量宠物的体温，无需任何专业知识和专属工具，并且不会伤害宠物，当身体受到伤害时测量狗，猫等的温度。解决方案：体温计的特征在于，在温度感测部分中提供按压部分，该温度感测部分包括薄板状温度指示材料，用于通过颜色变化指示特定温度。Ž

